

有害化学物質から子どもを守るネットワーク(子どもケミネット)  
ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議共催国際セミナー

# ビスフェノールA (BPA) は 人間の卵子の発達を阻害する！

代表的な環境ホルモン(内分泌かく乱化学物質)であるビスフェノール類(BPA、BPB、BPFなど)は、プラスチックの原料であり、安定剤や酸化防止剤として使われています。私たちの生活用品に多用されており、環境省のバイオモニタリング調査でも日本人の尿からも検出されています。その強い女性ホルモン作用が注目され、生殖機能への影響も懸念されてきました。

この度、ビスフェノールAが卵子の発達を阻害し、生殖能力を低下させ、不妊をもたらしている可能性を実験によって指摘したパトリア・ハント博士より、貴重なお話を伺います。近年海外では、レジのレシートに手を触れるとBPAが体内にしみ込み、一週間以上体内に残存することが報告されています。身近なところから忍びよるBPA汚染、少子化に直面している私たちにとって、見逃せない問題です。

## 11月3日(金)

10:00開始 12:00終了  
Zoomウエビナーでの  
オンライン開催  
逐次通訳付き

**参加費：無料**

参加申込はQRコードまたは  
下記URLよりご登録を  
<https://onl.bz/8sCD7Mj>



パトリア・ハント博士

Patricia Hunt PhD

米・ワシントン州立大学分子生物学部教授

共催：有害化学物質から子どもを守るネットワーク(子どもケミネット)  
ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議

事務局：〒136-0071東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル4F JEPAn内

■本件に関するお問い合わせは [kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp](mailto:kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp) または03-5875-5410

このセミナーは2023年度地球環境基金の助成を受けて開催されます。